



# 西中の風

伊丹市立西中学校長  
大西 規之

## 規律や環境が整うと

すべてが上手くいくようになる

1、2年生は4日間の家庭訪問が終わりました。たいへんお忙しい中、訪問へのご対応ありがとうございました。ご家庭での様子を聞かせていただくことができ、たいへん有意義な訪問となりました。

さて、第4号では「学習規律、学習環境の徹底」について書かせていただきました。本号では「学習規律や学習環境」が整うとどのような効果があるのか、なぜ必要なのか、いろいろな資料から拾い上げてみました。

①禅宗の考えもと、ある僧侶が書かれた有名な詩です。

「はきものをそろえる」  
はきものをそろえると心もそろろう  
心がそろうとはきものもそろろう  
ぬぐときにそろえておくと  
はくときに心がみだれない  
だれかがみだしておいたら  
だまってそろえておいてあげよう  
そうすればきっと  
世界中の人の心もそろおうでしょう

②相談に来た接骨院の経営者に専門家がアドバイスした内容です。

かつて整骨院の経営者が相談に来られた。相談者は「こういう整骨院にしたい」というビジョンは描けていたが、それだけに現実の経営状況に納得がいかず、理想と現実とのギャップに士気が下がりがちで困っていました。そこで、専門家は一気に理想に近づこうと考えるのではなく、まず患者さん用のスリッパをきれいに揃えるよう勧めました。院内が一カ所でもピシッと整うと、その他の乱れも目につくようになりました。待ち時間用の雑誌が乱雑に置かれていたり、ゴミ箱にはゴミが一杯になっていたりしましたが、それらもスタッフが整理整頓。すると業務のスケジュール管理まで徹底できるようになり、次第に客足も伸び、大いに商売繁盛したといえます。どんな理想を掲げたとしても、まずは足元の行動から見直すのがいいという好事例です。

③有名な教育学者が言われた言葉です。

勉強やスポーツができる子には、共通するものがあります。それは

- (1) 返事
- (2) あいさつ
- (3) いすをしまい、くつをそろえる

の3つです。

④ある学校の道徳の時間のお話です。

東京都のある中学校。実は、この中学校は問題がたくさん起こる学校でした。だから、学力も高くないし、スポーツもまったく駄目でした。そんなとき、生活目標を「席を立つときは、いすをもどす」にしました。先生からの質問と説明は以下の通りです。

①質問：この中学校どうなったと思いますか。

②説明1：生徒たちがいすをしっかりとどすことができるようになると、なんと、学力もスポーツも東京都でトップクラスになりました。この学校の先生たちも驚いていましたが、何より子どもたち、そして、保護者の方、地域の方も驚いていました。

③説明2：誰でもできる当たり前のことを毎日当たり前のようにできることが大切なんですね。

(実際の授業の感想)

今日の道徳の授業でいい事を知りました。それは…はきものをそろえること。その帰りのみんなの態度です。帰る前、トイレに行きたくてすぐに行きました。そして、スリッパ(はきもの)のことを思い出しました。「そうだ、そろっていなかったらそろえよう」と、早速やろうとしました。そしたら、すでにトイレから出たらそろえている人が…Aさんでした。私もやりたかった。「えらい」と小声で言いました。でも他人のスリッパをそろえるのではなく、自分のもそろえなくてはと思い、ちゃんとそろえました。そして、玄関に行き「あ…そうだ、ここでもそろえていかなくちゃ」と言ってそろえました。そして、みんなのくつはそろっているか見たらとってもキレイ。やはり、こういうことで100点をとるのもいいと思いました。「やっぱり、気持ちがいい」それから家に帰って、ポーンとそのままぬいでしまいました。「しまった!!」と思い、やり直してきれいにしました。他の人のもきれいにしました。「おおー、スッキリした」と思いました。今日の授業だけでみんなが変わる。心も変わる。見た目も変わる。周りも変わる。とっても気持ちがいいです。これからも続けていって、行動でお手本になろうと思います。



